

第85回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年7月6日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第85回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○村井災害対策本部長

- ・震災で親を失った子ども達のために「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」を開設する。
- ・子ども達が希望する進路に行けるよう寄付をしたいという声もあり災害復興寄付金とは別に口座を設けた。使用方法については、御意見をいただきながら検討したい。御支援よろしくお願ひしたい。
- ・仮設住宅については、8月中旬全戸完成のためには6月末までに用地を確保しなければならなかったが、気仙沼市を除き確保ができた。第14次の着工で97%の供給に目処がついた。希望者が全員入居できるよう今後も取り組んでいく。

○政府現地対策本部

- ・震災に関する第二次補正予算案が7月5日に閣議決定された。原子力関連で2,700億円、被災者支援で3,700億円、復旧復興予備費で8,000億円、地方交付税で5,400億円などトータル約2兆円弱である。
- ・このうち、生活再建支援制度の拡充では、国と地方の負担割合を5対5から8対2とし、2の地方負担分は特別地方交付税で措置することとした。

○小野寺危機管理監

- ・死者については9,203人、行方不明者については4,613人、全壊66,255棟で半壊が50,854棟となっている。避難者については14,889人となっている。被害額については3兆3,814億円ほどになっている。

○今野総務部長

- ・被害額は10億円ほど増加している。また、生活再建支援金の申請状況は10,000件ほど増加している。

○伊藤震災復興・企画部長

- ・仙石線の矢本～石巻間は7月16日に運転再開の見込みとなった。

○環境生活部

- ・7月4日にながれき衛生相談窓口を設置した。昨日まで8件の相談があった。
- ・放射能測定方針を6月29日に策定し、市町村に対する説明及び配布したところである。

○岡部保健福祉部長

- ・高齢者施設被害は二次調査が終わり23億円ほど増加した。
- ・災害孤児は1人増え112人になった。また、震災孤児等の支援のための寄付口座を開設することになった。
- ・義援金総額は191億円である。
- ・災害ボランティアの活動状況については、7月2日、3日の土日には2,000～3,000人強の方が活動している。

○千葉農林水産部長

- ・被害額が畜産施設の関係で約3億円増えている。
- ・冷凍冷蔵内水産物の海洋投入が7月1日に終了し、合計7万トンであった。
- ・石巻魚市場が7月12日に再開する。

○橋本土木部長

- ・山元町山下地区について、7月1日から建築制限を実施している。

○自衛隊

- ・生活支援についてだが、給食支援は南三陸町で終了した。気仙沼市、女川町等は継続実施中である。入浴支援は南三陸町、亘理町で終了した。気仙沼市、女川町、石巻市、東松島市、山元町で継続実施中である。
- ・海上で2体の遺体を収容した。

○竹内警察本部長

- ・遺体は昨日まで9,293体収容した。6日間で14体収容した。引渡は9,278体である。内訳は親類引渡が7,724体で市町村引渡が1,554体となっている。
- ・高速道路の落下物が多くなっている。前年比三割増となっており、物損事故につながっている。

○海上保安庁

- ・6月29日から7月5日までに遺体を8体収容した。

○小林教育長

- ・避難先となっている学校数は全体で6校減り62校になった。

○村井災害対策本部長

- ・次回は7月13日10時00分に開催する。